



3階個室前に設置された大判のオニキスをブックマッチで設えた壁面ディスプレイ

「中国飯店 富麗華」データ

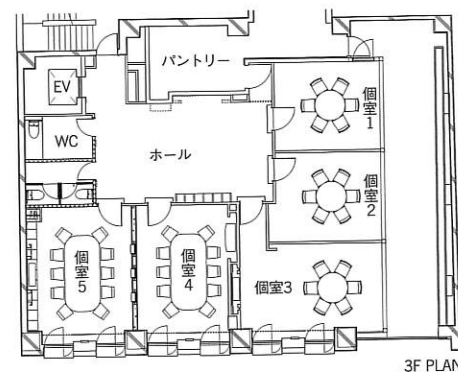
所在地: 東京都港区東麻布3丁目7-5
 工事種別: 内装のみ 全面改装
 床面積: 1階客席、エントランスホール270㎡ 2階宴会場166㎡ 3階個室、ホール132㎡
 工期: 2013年2月21日～8月5日
 施工協力: 空調設備/エアコンサービス 電気設備・照明
 器具/ニッコー 家具/ナカタケ 石材/大場石材

営業内容

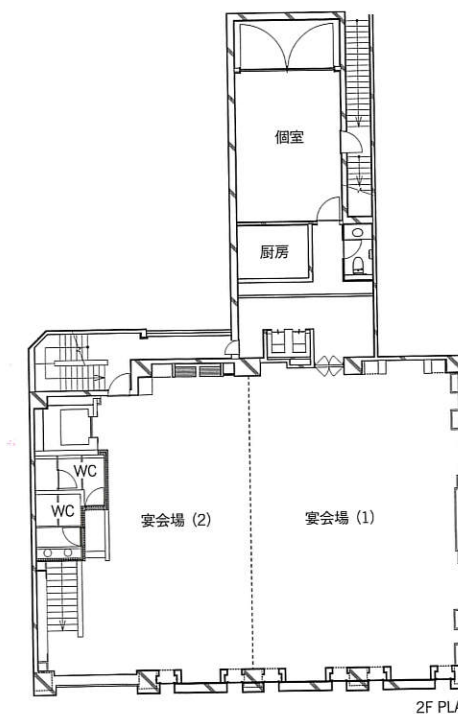
開店(リニューアル): 2013年8月10日
 営業時間: 午前11時30分～午後2時 午後5時30分～午後10時
 定休日: なし
 電話: (03)5561-7788
 経営者: 中条商事株
 従業員: サービス40人 厨房30人 合計70人
 客席数: 200席
 主なメニューと単価: ディナーコース1万3650～3万6750 北京ダック(1/4)2625 金華チャーシュー2100 紹興酒3年(250ml)1680

主な仕上材料

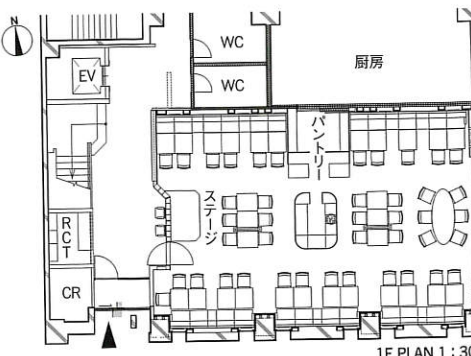
床: 1階/客席・ウッドパーケット寄せ木貼り 一部御影石埋め込み 2階/フェルトt8+カーペットt7敷き 3階/個室・フェルトt8+カーペットt7敷き ホール・フロアリング貼り
 幅木: 1階/エントランスホール・御影石JB仕上げ 客席・大谷石貼り
 壁: 1階/客席・左官仕上げ材(アルガンティコ/NINO JAPAN) 柱・腰壁・大谷石積み 一部馬張り 面格子張り 3階/個室、ホール・クロス貼り(MDC WALLCOVERINGS) 一部オニキスピアノ水磨き仕上げ内照式 可動パーティション・布団貼り スリットガラス差し込み
 天井: 1階/エントランスホール・EP 折り上げ天井 シャンデリア吊り 客席・不燃処理突き板貼り ウォールナット材練り付けOSCL 木調塩ビシート貼り(ダイノックシート/住友3M) 塩ビ化粧シート貼り(ベルビアン/シーアイ化成) オリジナル彫刻アートワーク設置 2,3階/EP モールディング貼り(サンメント/みはし) オリジナル彫刻アートワーク設置
 家具: 1階/ソファ・ファブリック貼り(maharam, sudden 463000/チェルシーインターナショナル)
 什器: 1階中央カウンター/ウォールナット材柃目OSCL 天板・無垢カリン材 一部フロストガラスPOS機材埋め込み 1階飾り棚/ガラス部分・ショットアーティスト加工



3F PLAN



2F PLAN



1F PLAN 1:300



柔らかい光が空間全体を包む
フレンチレストラン

DOMINIQUE BOUCHET TOKYO

French Restaurant DOMINIQUE BOUCHET TOKYO
 Designer Naoyoshi Taniyama / NAO Taniyama & Associates

設計/NAO Taniyama & Associates 谷山直義 長谷川 崇
 協力/照明計画 ヒカリ・デザイン 若井 修
 グラフィック 商業美術研究所 榎本一弥
 施工/成和

撮影/ナカサ&パートナーズ



上/外観。アールを描くスチール製の手すりの中に、地下のエントランスへと続く階段がある 右/地下1階、エントランス前。漆喰の壁にサインが浮かび上がる



パリの記憶を空間化する

2006年、仕事で訪れたパリ。せっかくだからと昼夜を問わず、いくつもの著名なレストランをはしごした。しかし自分の舌が肥えていなかったのか定かではないが、これなら日本で食べるフランス料理のほうが美味しいと思える程度だった。そんな中で訪れた後半の一軒が「Restaurant DOMINIQUE BOUCHET」だった。白い皿の中央に並べられた2本のホワイトアスパラ、塩と胡椒だけで食べた。その味には

見た目には見えてこない手間暇とディテールが凝縮されていた。そして食事の途中、1人の老人とやせ細った老犬が店に入ってきた。老人は時間を掛けゆくりと食事を摂りながら、とても自然に傍に鎮座する犬へ、その一欠片を与えていた。時折、話しかけながら優しく見守るギャルソン。そこにはフランス料理の真髄と奥深さがあった。感動のあまり、居合わせたシェフのドミニク・ブシェ氏に感謝を伝え、彼はその場で自身の著書にサインをして手渡してくれた。

それから6年、グラフィックデザイナーの榎本一弥氏から DOMINIQUE BOUCHET の海外初出店のデザインをやってみないかと尋ねられた時の驚きと緊張は今でも忘れられない。ドミニク氏には記述することさえも憚れるほどの輝かしい歴史がある。「パリのエスプリ」そんなドミニク氏から出てきた新店舗への想いはシンプルだった。しかし味の記憶は時間が経ってもその新鮮さを失わないものである。だから私は自分のすべきことに迷いはなかった。

〈谷山直義／NAO Taniyama & Associates〉

左／地下1階はカフェやバーラウンジとして利用される。中央にはウオールナットの天板のテーブル 右上／壁にはシェフであるドミニク・ブシェ氏の過去の写真をランダムにディスプレイした。足元の窓からは地下2階のダイニングを望む 右下／中央テーブルの向かいにはワインセラー。400本以上のワインを収蔵可能



地下2階レストランダイニング。天井高約6.5mの空間に対し、1.5m下に開口を設けた天井面を設置。光の溜まりとなる空間をつくっている。アールをとった壁面にはニッチを設け、アート作品をディスプレイ



上/左上には地下1階のラウンジ。その下には個室席。ダイニングの照明は時間帯によって明るさの設定を変えている 右/カーテンで仕切られる個室席



「ドミニク・ブシェ トーキョー」データ

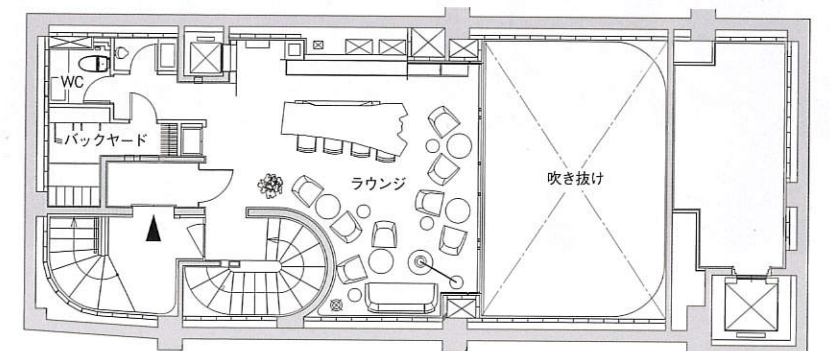
所在地: 東京都中央区銀座5丁目9-15 銀座清月堂ビル
地下1、2階
工事種別: 内外装 全面改装
床面積: 172㎡/地下1階68㎡ 地下2階104㎡ (うち厨房34㎡)
工期: 2013年3月18日～8月13日
施工協力: 空調・給排水衛生設備/フルタ総合企画 電気設備/タツノ電設 厨房設備/マルゼン 照明器具/オーデリック 家具/TOMINAGA (地下1階) サクラファニッシング (地下2階) 什器/秋山木工 サイン/アド美廣

営業内容

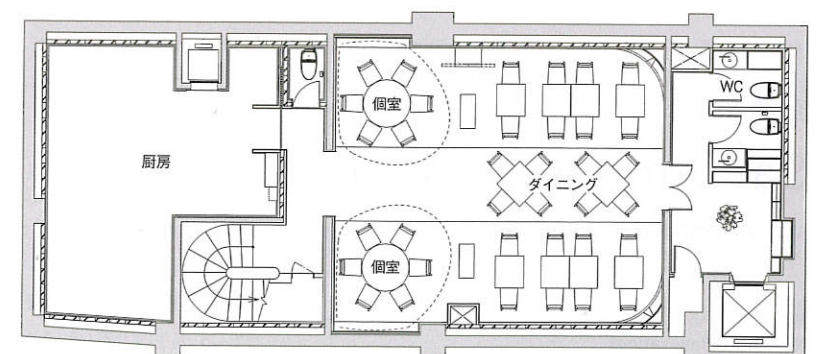
開店: 2013年9月4日
営業時間: 午前11時30分～午後1時30分 午後6時～午後8時30分 (地下1階のみ午後10時まで)
定休日: 日・月曜日
電話: (03) 5537-3290
客席数: 50席/地下1階14席 地下2階36席
客回転数: 2回
主なメニューと単価: カフェランチコース3500 レストランランチコース5500、8500 レストランディナーコース1万、1万5000、2万 (サービス料、消費税別)

主な仕上り材料

床: ホワイトオーク材フローリング貼り (望造) 地下2階一部カーペット敷き (WS53/サンゲツ)
幅木: ホワイトオーク材
壁: クロス貼り (NA1007/川島織物セルコン) ホワイトオーク材突き板 漆喰左官仕上げ 地下1階一部黒皮鉄板貼り 地下2階一部ホワイトオーク無垢材貼り ビアノ塗装
天井: AEP
家具: 地下1階/チェア・レザー張り (チェルシーインターナショナル) テーブル天板・ウオールナット 脚・スチール黒皮塗装 地下2階/テーブル天板・ホワイトオーク突き板染色の上オイル仕上げ 脚・SUS チェア脚・ホワイトオーク染色の上オイル仕上げ
カーテン: マナトレディング Shimmer



B1F PLAN 1:200



B2F PLAN